

令和4年度 第1回学校評議員会 会議録

1 日時・場所 令和4年7月14日(木) 15:30～ 硯ヶ丘記念館

2 出席者 学校評議員2名
全・定教頭、事務部長、教務主任

3 主な内容

(1) 学校からの説明

- 令和3年度学校評価について ①自己評価(活動報告)
- 令和4年度学校評価について ①自己評価(活動計画) ②学校評価関係年間計画
- 本年度の取組について ①全日制 ②定時制 ③施設、設備等

(2) 学校評議員からの質問・意見等

(評議員) 学校ホームページや多高かわら版などはよく工夫されていて、学校の活動がよく分かる。これからもどんどん情報を発信してほしい。

(学校) 本校の特徴・魅力を校外の方にいかに認識してもらえるかは、喫緊の課題である。特に中学生やその保護者の皆様には広く知ってもらい、本校に関心を持ってもらいたいと考えている。

(評議員) 多度津高校は就職する生徒が多く、特に社会に出るための教育をしてくれていると思う。周囲から認められる経験をすることで、自分から積極的に動けるような力をつけたり、部活動や実習などで厳しい経験をすることで、苦しいことにも耐えられる力をつけたりして欲しい。

(学校) 多くの生徒たちが学習と部活動を両立し、生き生きと学校生活を送っている。中でも実習は、自身の進路選択にも直結しており、特にやりがいを感じながら取り組んでいるようである。コロナ禍ではあるが、学校としてはできるだけ多く学びの機会を設けていきたい。

(評議員) 今年度の具体的目標の一つに、生活習慣や規範意識を身につけることが掲げられているが、最近の若い人たちは自分の考えや気持ちを表現するのが苦手のように感じる。学校生活を通して日常のコミュニケーションを大切にし、人との適切な関わり方を学んで欲しい。

(学校) SNS等を通しての会話は直接の対話と異なり、ちょっとした文字の書き違い読み違いで誤解を生じてしまう。使い方のマナーと相手を思いやることの大切さを伝えていきたい。

(評議員) 高校でもICTを取り入れた教育が進んでいると聞いている。多度津高校では、新型コロナウイルス感染症に対応したリモート学習や授業の中での端末機器の活用についてはどのような状況か。

(学校) これまではリモート学習は行っていない。個々の授業の中でタブレット端末を使って生徒に資料を提示したり、生徒自身に端末を使って調べ学習をさせたりと工夫している。国の方針により、今後、一人一台の端末が配備されることになっている。新たに有効な活用方法を見出していきたいと考えている。

(以上)